

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-141	A-152	14-085 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Alcohol-related risk of suicidal ideation, suicide attempt, and completed suicide: a meta-analysis. 自殺念慮、自殺企図、自殺完遂に関するアルコール関連リスク：メタ分析		
<b>執筆者</b>		
Darvishi N, Farhadi M, Haghtalab T, Poorolajal J.		
<b>掲載誌</b>		
PLoS One. 2015;10(5):e0126870. doi: 10.1371/journal.pone.0126870.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
自殺、自殺念慮、自殺企図、メタ分析		25993344
<b>要 旨</b>		
<b>目的：</b> 飲酒障害（アルコール依存症、アルコール依存、アルコール濫用、多量飲酒、問題飲酒等）と自殺念慮、自殺企図、自殺完遂との関連についての報告は一定しないため、過去の研究のメタ分析を行った。		
<b>方法：</b> 2015年2月までの論文をPubMed, Web of Science, Scopusを用いて検索した。Psycinfo websiteと雑誌も検索し、著者にもコンタクトした。飲酒障害と自殺の関連を検討した観察研究（コホート研究、症例対照研究、横断研究）を採用した。主要アウトカムは自殺念慮、自殺企図、自殺完遂とした。Q-testとI <sup>2</sup> 統計量にて不均一性（heterogeneity）を検証した。Egger's and Begg's testとfunnel plotを用いて出版バイアスを検討した。メタ分析はランダム効果モデルで行った。各アウトカムについてオッズ比、リスク比と95%信頼区間を算出した。		
<b>結果：</b> ヒットした8,548研究のうち31研究（対象者計420,732人）を採用した。飲酒障害は自殺念慮（オッズ比1.86）、自殺企図（オッズ比3.13）、自殺完遂（オッズ比2.59、リスク比1.74）と有意に関連した。有意な不均一性はあったが、出版バイアスはほとんどなかった。		
<b>結論：</b> 飲酒障害が自殺念慮、自殺企図、自殺完遂のリスクを有意に上昇させる十分なエビデンスがあった。		